

水掛神事

18時頃
本町交差点にて

見どころの一つ「水掛神事」は、雨乞いの名残りの行事とされている。

一度目は、本町交差点の真ん中で、臼の上を下ろした神輿に総代3人が乗る。神輿係は、担ぎ棒を持って左へ左へとぐるぐる廻し、副総代の3人が柄杓で大量の水を掛ける。神輿が回る勢いは凄まじく、神輿係が遠心力に負けて、すっ飛んで行くことも。

神輿も神輿係もびしょびしょになるまで水を掛け、そのあまりの壮観さは観衆を虜にする。

再び神輿を担ぎ上げ、休むことなく本町通りの中央へ行き、二度目の「水掛神事」を行う。

一度目とは反対に、神輿に乗るのは副総代で、水を掛けるのは総代の役目となり、二度目の方が長い時間、続けられる。



渡台神事

20時頃
本町交差点
西側付近にて

健速神社祇園祭最大の見所といわれる神輿引渡しの儀「渡台神事」。

神輿を担ぎ、勢いよく渡台に近づいて、そのまま渡台に乗せるかと思いきや乗せることはせず、その場で反転し引き返す。引き返して間もなく、また勢いをつけて渡台に近づいては引き返すを何度も繰り返す。何度も何度も繰り返す。

ため、いつ渡台に乗るのが分かるからなのがまた面白い。

この渡台神事での練りは、神輿係にとって最大の正念場。一日中、神輿を担いできた者たちが、何度も何度も走り、必死な形相で続ける姿に、誰しもが引き込まれる。

次第に観衆から湧きあがる拍手のなか、神輿は見事に渡台に乗る。



渡台に乗った神輿を再び担ぎ上げ、本町にある仮宮へ納める「仮宮納め」。

神輿と担ぎ棒を縛っている麻縄を切り、神輿が落ちないよう神輿係が手で押さえないが「ヨイトーヨイトー」の掛け声で仮宮へ向かう。

大観衆の中、仮宮へ安置し神輿練りは終わり、最後に、切った麻縄がお守りとして観衆に配られる。

仮宮納め

21時頃
ほんまち町屋館前にて